

令和5年度 第3回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和6年2月21日（水） 10:30~11:30
場所	豊橋市中央図書館 3階会議室
委員	出席定数12名 7名出席
事務局	5名
議事	議題 (1) 令和6年度予算案の概要について (2) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について
配付資料	議題 (1) 令和6年度予算案の概要について (2) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について

<議事概要>

(事務局)

本日の会議は、委員の半数以上の出席があり、会議は成立している。

議題

(1) 令和6年度予算案の概要について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

中央図書館大規模改修計画が不成立になった理由はどのようなものか。

(事務局)

見積書をいただいた複数の業者に確認したところ、人手不足、物価高騰や人件費増等が理由であった。

【委員】

建築費や人件費、資材価格が高騰している中、大規模改修できるよう期待している。

【委員】

図書購入費の減少に関連し、本の単価の考え方はどのようなものか。

（事務局）

様々な本がある中で、この単価で行けるだろうという見込である。図書館の予算として配分された予算の範囲内で、増額する委託料がある中、単価を抑えながら、何とか冊数を確保したい。

【委員】

運営について努力していると思う。司書や学芸員、会計年度任用職員、委託業者が働いていると思うが、働き方についてどういう形で考えているか。

（事務局）

職員も限られた人数しかいない。班体制で業務を行っており、ぎりぎりで行っている。特に、まちなか図書館は変則的な体制である。このため、連絡体制をしっかりとして情報共有していきたい。いろいろな事業については無駄なものを抑えて業務を効率化しながら頑張っていきたい。

【委員】

逐次刊行物について電子コンテンツに変わっているか。

（事務局）

電子コンテンツに変わっておらず、紙媒体である。

【委員】

業務委託は、直営と比較して、コストを抑えるために導入していると思うが、費用が高くなっても、メリットはあると考えているか？

（事務局）

職員の数が限られているため、現時点では、直営で行うより、コストを抑えつつ、サービスを維持するというメリットはあると考えている。

【委員】

図書資料購入について、自分で本を購入することもあるが、図書館でありがたいのは、

なかなか買えない本があることである。図書資料購入について、どういう基準で本を購入しているか。

(事務局)

選書会議で図書の収集方針を決めて、進めている。

【委員】

本を購入する予算は削られている。以前、図書館まつりを行っていた際には、図書館にある古い本を売るということを行っていた。そういうことをすれば、歳入につながるのではないか。

【委員】

委員の皆さんは本が好きだと思う。図書館の空間は大事で、文化として残していく必要があると思う。紙の本を残して欲しい。本を読むという文化の継承は重要だと思う。

(了承)

議題

(1) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

3年に1回の登録内容の確認とは、だれがどのような機会に確認しているか。

(事務局)

貸出の際、(貸出券登録または前回更新から)3年以上経過しているとカウンターに来ていただくようセルフ貸出機に表示されるようになっているため、その際に図書館職員が、確認している。

【委員】

マイナンバーカードで貸し出し可能とすることを検討しているか。

(事務局)

自治体によっては貸出券とマイナンバーカードの連携を検討しているが、豊橋市は、現時点では検討していない。

【委員】

制度が動いているが、安全安心を考えると、現時点ではそのままでもいいのではないかと。

(了承)